

## 投稿規定

- 1) 本誌は年一回以上発行する。
  - 2) 本誌は総説、研究論文、症例報告、臨床研究、年間の業績、院内の各委員会や各部局の活動報告、医療統計などからなる。
  - 3) 投稿者は本院の職員および編集委員会の認めたものとする。
  - 4) 原稿は和文または英文いずれでもよいが、未発表のものに限り、倫理上問題のある論文は受け付けない。
  - 5) 原稿の採否および掲載順序は編集委員会で決定する。
  - 6) 原稿は横書400字詰原稿用紙を用いても、同じ字詰め(20字×20行)のワードプロセッサを用いてもよい。
  - 7) 原稿の様式は、論文の題名、著者名、所属部所、本文、文献、図表の順とし、論文の題名、所属、著者名は原稿の1枚目に記載する。
  - 8) 原稿の総枚数は図表(一点につき原稿用紙1枚に換算)、文献を含めて30枚とする。
  - 9) 研究論文は、緒言(はじめに)、対象と方法、成績、考察、結論の順に、また症例報告は、はじめに、症例、考察の順に記述する。原稿には頁数を付記する。
  - 10) 原稿の文体には現代かなづかい、当用漢字、慣用医学用語、C.G.S単位を用い、「である」調とする。医学用語は原則として日本語を用い、略語を用いるときは初出の際説明する。止むを得ない外国語、外国人名、外国地は原語のままかカタカナを用いる。薬品名は一般名を基本とする。
  - 11) 図表は15枚以内(モノクローム、キャビネ判)とし、写真製版できる明瞭なものとする。表題は図や写真の場合下に、表の場合は上に付記する。その挿入箇所については原稿本文中に朱字で指定する。
  - 12) 引用文献は引用順に番号をつけ、本文の最後一括して記載する。また本文中の引用箇所にもその番号を右肩に付ける。引用文献の書き方は、  
雑誌の場合……著者名：表題、雑誌名 巻：頁-頁、年号(西暦)  
単行本の場合……著者名：引用論文、書名、版、出版社、発行地、西暦(年号)、頁-頁  
とする。なお、著者名は3名までとし、それ以上の場合はほかまたはet alとする。誌名の省略法は医学中央雑誌かIndex Medicusによる。
- 引用文献例
- 雑誌…… 1) 早雲孝信、東 健、中島正継、ほか：大腸癌におけるK-ras遺伝子のpoint mutationの検討。日消誌 88：1539-1544、1991
  - 2) Shiina S, Tagawa K, Unuma T, et al：Percutaneous ethanol injection therapy for hepatocellular carcinoma：A histopathologic study. Cancer 68：1524-1530, 1991
  - 単行本… 3) 武藤泰敏：消火・吸収からみた大腸の働き。消化・吸収、新版、第一出版、東京、1988、176-187
  - 4) Lever WF, Schaumburg-Lever G：9 Vascular Diseases. Histopathology of the skin, 6th Ed, JB Lippincott, Philadelphia, 1983, 164-189
- 13) 論文要旨は、日本語で400字以内にまとめ、key words(5つ以内)を付ける。また論文要旨に合致した英文抄録を添えること。表題、氏名、所属、要旨の順に200語以内にタイプあるいはワードプロセッサを用いて記載する。
  - 14) 校正は一回とし著者が行う。掲載料は無料とし別刷りは一編につき30部まで無料進呈とする。